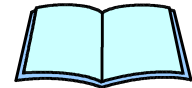


学校評価アンケート

回答と集計結果から



保護者の皆様には、11月に「学校評価アンケート」へ協力していただきました。学校運営や教職員の指導・支援について、地域との連携や環境整備等について、ご回答ありがとうございました。100%に近い回収率になり、各家庭での取り組みの様子も知ることができました。集計がまとまりましたので、ご報告いたします。

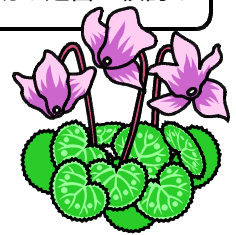
いただいたご意見の中で学校として回答が必要なものと、小学校・中学校それぞれの項目（抜粋）の集計を報告させていただきます。また、ご意見ご質問で個人名を記載していただき返答の必要があった内容については、個別懇談会の折に各担任より回答させていただきました。ご意見の中には、本校の運営や担任の学級経営等について励まみや温かなご意見も多く、家庭や地域とのつながりを深めていこうとしている昨今、保護者の皆様の励ましの言葉が力となります。今回いただいたご意見は、全職員で共有しております。今後も、児童生徒の育ちや学びを支えられる学校運営や学級経営に邁進して参ります。

尚、今回の結果について、2月の参観日に詳細な分析や内容について説明会を予定しております。（後日連絡させていただきます。）

ご意見・ご質問	回答
各先生方の指示が違うことがあり、ある先生の指示に従ったら担任に違うと怒られたことがあったようです。同じ指示でないと子ども達は悩むようです。(小)	ご指摘ありがとうございます。そういうことが無いよう、朝会や部会、学年会や職員会など日常的に情報交換・情報共有を進めておりますが、今後も一層の意思統一を図りたいと考えます。
2学期の行事がつまっているように感じます。夏休み明けに運動会練習が続き、終わるとすぐ音楽会。音楽会が終わってから疲れてしまい登校を渋りました。運動会を1学期に行うとか、音楽会との間隔を離すなど検討していただきたい。(小)	小中学校併設のよさが生きるよう、行事の配置や時期については検討を進めております。また、児童生徒の負担が少なくなるような、活動しやすいよりよい時期を検討していきます。
挨拶の習慣の意識付けにもう少し力を入れてほしい。(小中)	小中あわせての課題です。現在、職員・児童会・生徒会ともに挨拶を重点目標に据えて日々の習慣になるよう努力しております。児童会では「挨拶ロード」を毎朝、生徒会では「挨拶週間」など行っております。挨拶が明るく飛び交う学校を目指し、邁進して参ります。
クラスの中でいじめがあると聞いていますが、いじめている側などに対応はしているのでしょうか。子ども達が安心して入れるクラスでなければならないのではないのでしょうか。(小)	子どもの心をご家庭で支え育てていただき、ありがとうございます。いじめの事案について、児童の発言や行動、アンケートや日記等でできるだけ早期に把握し、小さな事でも即時対応しております。受け手が苦痛に感じたことは、事の大小にかかわらず対応します。ご家庭で情報等がありましたら、今後も学校へお伝えください。即時対応して参ります。
小さな学校で、児童の顔ぶれもほとんど同じなので、新しい風を入れるためにも、1年ごと担任を変えたらどうか。(小)	ご意見ありがとうございます。日義小中の少人数のよさを生かしながら、人間関係が固定化しないように日々の生活や学級活動、道徳などで中間のよさを多角的多面的に見られるよう教育を進めております。また、十分成果につながってはおりませんが、今後もどの子も居場所がある学級・学校づくりのために、どのような人員配置が有効か学校運営の検討を進めます。
宿題の量を、もう少し児童にあったものにしてほしい。特に夏休みに多く、ポスター・作文・工作・一研究は選択にした方がよい。(小)	夏休みの課題について、各ご家庭に協力いただき誠にありがとうございます。長期休みであるからこそ時間をかけてゆっくり取り組める課題を選定しています。量については、今後も負担が大きすぎないように検討を進めます。
元原地区は、もう全員（低学年だけでなく）バス通学にしてもよいのではないかと。(小)	貴重なご意見ありがとうございます。検討を進めます。登下校時の安全確保のためにもスクールバスは有効と考えます。本校の教育目標である「じょうぶな子」のために、徒歩通学も大切な一つと考えていますので、ご理解ご協力ください。
夏期講習がなかったので冬期講習を開催してほしい。一人ひとりに合った学習指導をしてほしい。その子の弱点などを指摘して、克服できるような指導をしてほしい。また、中2の夏頃から親子とも受験を意識できるように、進学や受験の情報をもっと出してほしい。(中)	夏休み中の3年生の補習については、来年度どうするか検討いたします。冬休みに関しては、学校閉庁日が30日～3日をはさみ、土日が4日間となり、1月8日は職員会議・研修があるため、学校開催の補習は考えておりません。進路については、時期に応じた早目の進路指導・情報提供を心がけていきます。
音楽会の時に保護者入場が8:00になっていたのでもその通りに行ったら、すでにたくさんの方が入場していた。できればその時間に開場してほしい。(中)	ご意見ありがとうございます。各行事につきましては、保護者の皆さん・地域の皆さんが気持ちよく参加していただけるよう、検討させていただきます。
身体的な暴力も言葉による暴力も、被害者側、	生徒同士のトラブルに関しては、加害者、被害者それぞれ

<p>加害者側、両方の保護者にきちんと報告をしていただきたい。友達や下級生に意地悪をしてしまう子の心のケアを望みます。いじめを受けた子ども以上に、意地悪をしてしまう子どものほうが助けは必要かと思えます。生徒一人ひとりを見ていただき、子どもが納得できる対応をお願いしたい。(中)</p>	<p>の側に寄り添い、担任をはじめ、職員全体で指導をしていきます。保護者の方のそれぞれのお気持ちを伺い、連絡も密にしながら、双方にとって良い方法を探っていきたくと思えます。</p>
<p>子どもの気持ちをきちんと吸い上げてくれることが少なく、大人の意見を押し付けているような話がある。担任だけでなく、副担ともじっくりと関わり、子どもたちが今何を思っているかをちゃんと皆に知ってほしい。(中)</p>	<p>生徒の気持ちに寄り添い、その上で正しいこと大切なことをしっかりと伝える指導を心がけていきます。担任だけでなく、学年・中学校職員全体で情報を共有しながら、複数の目で生徒の様子を捉えて、指導・支援していきます。</p>
<p>授業や部活動、その他の細かな部分まで見ていただいているが、先生方の働き方改革の影響か、ここ最近時間で区切られて相談したくてもできないことも増えてきたように感じます。部活動も少人数の影響で、今後の活動が心配な部分もあり、逆方向に向かっているように感じます。(中)</p>	<p>働き方改革は、生徒にとって大切な授業や指導をより充実させるための改革です。仕事の進め方を見直し、より効率的に進め、生徒と関わる時間を増やすためでもありますので、保護者の皆様には遠慮せず、いつでも職員に声をかけてご相談いただければと思います。部活動につきましては、保護者の皆様の意見も伺い、中学生期にあった適切な運営を検討して参ります。</p>

アンケートの集計結果について、学校運営や学校目標に関係深い項目をいくつか抜粋させていただき、家庭での取り組みについても合わせ報告させていただきます。



A:あてはまる B:ややあてはまる C:どちらでもない D:あまりあてはまらない E:あてはまらない
青文字：比較的高い評価 **赤文字：比較的低い評価**

【中学校集計 抜粋】

学校は家庭との連絡や意思疎通をきめ細かく行っている					
学年	A	B	C	D	E
1	25%	33%	33%	8%	0%
2	48%	29%	19%	5%	0%
3	18%	41%	35%	6%	0%
考察	連絡が少ない、様子がわからないと感じられている方も少なくない。保護者の方の不安を軽減できるよう、さらに早目の対応・連絡を意識して行ってほしい。				

子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている					
学年	A	B	C	D	E
1	31%	46%	23%	8%	0%
2	29%	19%	48%	5%	0%
3	18%	53%	24%	6%	0%
考察	教科担任制で、それぞれの評価の違いもあるが、全体として、より指導力を高めていく必要がある。職員もさまざまな研修で学んだり授業を見合ったりして研鑽を重ねていく。				

教職員は一人一人に応じてきめ細かな指導をしている					
学年	A	B	C	D	E
1	21%	36%	36%	7%	0%
2	32%	26%	37%	5%	0%
3	18%	41%	35%	6%	0%
考察	何かあってからの対応でなく、恒常的に生徒との会話を増やして個別面談を行うこと、また、担任だけでなく全職員で関わりながら、一人一人に寄り添う指導をしていく。				

学校の雰囲気がよく子どもたちは生き生きとしている					
学年	A	B	C	D	E
1	36%	21%	29%	14%	0%
2	42%	29%	29%	0%	0%
3	41%	53%	6%	0%	0%
考察	まずは居心地のよい学級であること。道徳や人権教育を丁寧に行い、自分たちで考え実行できる学びを多く取り入れ、一人一人が輝く充実感のもてる場面を増やしていく。				

教職員は子どもの健康や安全に気を配っている					
学年	A	B	C	D	E
1	40%	33%	27%	0%	0%
2	50%	45%	5%	0%	0%
3	41%	47%	12%	0%	0%
考察	毎日安心して学校生活を送るための第一条件である。今後も保護者や地域の方のご意見も伺いながら、さまざまな目線から安全管理に努めていく。				

子どもは学校の行事を楽しみに意欲的に参加している					
学年	A	B	C	D	E
1	67%	25%	8%	0%	0%
2	25%	50%	25%	0%	0%
3	47%	47%	0%	0%	6%
考察	自分たちで運営する生徒会活動や、音楽会などの行事に目的を持ち生き生きと取り組む様子が見られる。保護者の方にとっても生徒の成長を見ていただく貴重な場である。				

子どもに毎朝朝食を食べさせてから登校させている					
学年	A	B	C	D	E
1	92%	0%	8%	0%	0%
2	90%	10%	0%	0%	0%
3	88%	6%	0%	0%	6%
考察	ほとんどの生徒がきちんと朝ご飯をとって登校できている。成長期でもあり、部活での運動量も激しい時期なので、このような良い習慣を継続していただきたい。				

子どもの悩みや何に関心があるか知っている					
学年	A	B	C	D	E
1	30%	54%	8%	8%	0%
2	21%	47%	32%	0%	0%
3	35%	59%	6%	0%	0%
考察	思春期の難しい時期ではあるが、多くのご家庭でお子さんと保護者の方が話ができていく様子が見える。今後ご家庭・学校と連携して子どもたちを支えていきたい。				

【小学校集計 抜粋】

学校は家庭との連絡や意思疎通をきめ細かく行っている						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	73%	18%	9%	0%	0%	家庭との連絡等をより細かく行うため、学級通信や家庭連絡帳、電話等で丁寧な連絡を心がけていく。
2	52%	43%	0%	5%	0%	
3	56%	28%	17%	0%	0%	
4	45%	55%	0%	0%	0%	
5	21%	43%	14%	21%	0%	
6	36%	29%	21%	7%	7%	

教職員は一人一人に応じてきめ細かな指導をしている						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	73%	18%	9%	0%	0%	学年によって差があるが、この結果を真摯に受け止めて児童理解と個への支援を大切にしていく必要がある。
2	48%	43%	10%	0%	0%	
3	28%	50%	22%	0%	0%	
4	9%	73%	9%	0%	9%	
5	14%	21%	50%	7%	7%	
6	21%	36%	43%	0%	0%	

教職員は子どもの健康や安全に気を配っている						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	82%	18%	0%	0%	0%	安全面での配慮は評価に関係なく重点的に取り組まなくてはならない。今後とも家庭に理解と協力を得ながら進める。
2	57%	33%	10%	0%	0%	
3	56%	28%	17%	0%	0%	
4	64%	36%	0%	0%	0%	
5	36%	21%	36%	7%	0%	
6	29%	64%	7%	0%	0%	

子どもに毎朝朝食を食べさせてから登校させている（家庭）						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	100%	0%	0%	0%	0%	非常に高いよい数値を示している。家庭での生活が安定していることが感じられる。
2	90%	5%	5%	0%	0%	
3	94%	6%	0%	0%	0%	
4	100%	0%	0%	0%	0%	
5	93%	7%	0%	0%	0%	
6	93%	7%	0%	0%	0%	

子どもは授業が楽しく分かりやすいと言っている						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	45%	36%	18%	0%	0%	今後も、「ねらい・めりはり・見届け」を大切に授業を組み立て、基礎基本の定着を心がける必要がある。
2	43%	52%	5%	0%	0%	
3	28%	39%	33%	0%	0%	
4	27%	27%	36%	9%	0%	
5	14%	57%	14%	7%	7%	
6	36%	14%	50%	0%	0%	

学校の雰囲気がよく子どもたちは生き生きとしている						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	73%	27%	0%	0%	0%	低・高学年で評価が分かれる。楽しい学校作りのために、活動や行事等で児童の生きる場作りを検討する必要がある。
2	71%	29%	0%	0%	0%	
3	33%	61%	6%	0%	0%	
4	73%	18%	9%	0%	0%	
5	43%	14%	29%	14%	0%	
6	21%	64%	7%	7%	0%	

子どもは学校の行事を楽しみに意欲的に参加している						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	73%	18%	9%	0%	0%	比較的高い数値を示すが、高学年では評価が下がる傾向。活動意欲や目的意識が高まる内容の検討を進める必要がある。
2	86%	14%	0%	0%	0%	
3	67%	28%	6%	0%	0%	
4	73%	27%	0%	0%	0%	
5	36%	50%	7%	7%	0%	
6	43%	50%	0%	7%	0%	

子どもの悩みや何に関心があるか知っている（家庭）						
学年	A	B	C	D	E	考 察
1	45%	55%	0%	0%	0%	ほとんどの家庭で、児童の様子について把握されている。今後も家庭と学校で協力し合い、悩み等の解決に尽力したい。
2	38%	57%	5%	0%	0%	
3	28%	61%	11%	0%	0%	
4	18%	73%	9%	0%	0%	
5	36%	50%	14%	0%	0%	
6	29%	64%	7%	0%	0%	